

3 課題と今後の対応

本市の下水道は、これまで「生活環境の改善」、「浸水の防除」、「公共用水域の水質保全」を基本的な役割として着実に事業を進め、今日汚水については概成し、公共用水域の水質も著しく改善されるほど、大きな成果を上げてきた。

しかし、雨・地震等の自然災害に対する備えや施設の老朽化への対応に加え、「世界の環境首都」実現に向けた都市環境のさらなる改善、既存ストックのさらなる活用など、以下のとおりの取組むべき課題がある。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| (1) 雨や地震等の自然災害に対する備え | (2) 下水道施設の老朽化 |
| (3) 川や海の水質保全 | (4) 良好な水辺空間の創出への寄与 |
| (5) 低炭素化に向けた取り組み | (6) 既存ストックの活用 |
| (7) 国際貢献 | (8) 地域コミュニティとの連携 |
| (9) 広域化に向けた取り組み | |

北九州市下水道ビジョン

平成22年度から平成32年度を計画期間として、今後重点的に実施する下水道の取り組み方針を定めた「北九州市下水道ビジョン」を策定した。

基本理念

『水めぐる“住みよいまち”をめざして』

目 標

- 1 安全で快適なまちを支える ～市民の暮らしを守る～
- 2 水や資源の循環と低炭素化を進める ～よりよい環境をつくる～
- 3 下水道の「たから(資産)」を活かす ～社会の活力を増進する～

これらの目標達成に向け、目標毎に基本方針とその取り組みの柱を定め、具体的な取り組みを進める。

その実施にあたっては、それぞれの施策について、できる限り数値目標を設定し、内容や成果を市民に分かりやすく提示する。

目 標	基本方針	取り組みの柱
1 安全で快適な まちを支える ～市民の暮らしを守る～	1 安全で安心なまちをつくる	A 雨に強いまちをつくる B 地震に強い下水道をつくる
	2 清潔で快適な暮らしを保つ	C 下水道施設を健全に維持、改良する D 下水道施設を長持ちさせる
2 水や資源の循環と 低炭素化を進める ～より良い環境をつくる～	1 川や海への負荷を減らし、 水環境を保全する	E 汚水の処理水質をより良くする F 雨の日に合流式下水道から流れ出る下水を減らす
	2 自然豊かで快適な水環境をつくる	G 水の循環を自然な姿に再生し、まちに潤いを取り戻す H 貴重な水資源を多目的に活用し、潤いのある水辺をつくる
	3 地球温暖化の防止に向け、 まちの低炭素化を進める	I バイオマスや未利用資源から新しいエネルギーを生み出す J 施設運転のエネルギー消費を減らす
3 下水道の 「たから(資産)」を活かす ～社会の活力を増進する～	1 下水道の資源や施設から 新たな価値を生み出す	K 下水道の処理水や用地等を有効に活用する L 既存の技術や手法を改良する
	2 国際技術協力で アジアの発展に貢献する	M 技術やノウハウを海外に移転し、海外の技術者を育成する
	3 まちの賑わいづくりを支える	N 地域コミュニティと連携し、水辺で活動する